

原発事故から 14 年 フクシマを忘れない！

さようなら原発北海道集会

政府・経済産業省は第7次エネルギー基本計画の原案を公表しました。福島第一原発事故を踏まえて「可能な限り依存度を低減する」としていた原子力発電を、今後のエネルギー需要の増大を口実に「最大限活用する」とする重大な方針転換が示されました。

福島第一原発事故の収束作業、廃炉作業の完了も見通せず、さらに将来必ずやってくる廃炉にしなければならない多くの原発。廃炉の方法の確立やそれにかかわる費用そして出てくる放射性廃棄物の処分。原発を再稼働したら本当に電気代は安くなるのか？

また、高レベル放射性廃棄物(核のゴミ)の最終処分場の選定をめぐる問題。

私たちは甚大な被害と長期化させている福島原発事故を忘れず、改めて原発の危険性を訴えながら脱原発社会を実現していくために「さようなら原発北海道集会」を開催します。

2025 年 **3** 月 **11** 日 (火)
18 時 ~ **20** 時 (開場 17:30)

講演 「東京電力福島第一原発事故と
原子力推進政策の問題」

講師 原子力資料情報室 事務局長 松久保 肇 さん

【MATSUKUBO, Hajime】 1979年、兵庫県生まれ。2003年国際基督教大学卒、2016年法政大学大学院公共政策研究科修士課程修了。金融機関勤務を経て2012年より原子力資料情報室スタッフ。2022年より経済産業省「原子力小委員会」委員。共著に「検証 福島第一原発事故」(七つ森書館)、「原発災害・避難年表」(すいれん舎)などがある。

会場 北海道自治労会館 5階 大ホール
(札幌市北区北6条西7丁目)

主催 「さようなら原発1000万人アクション北海道」実行委員会
事務局：北海道平和運動フォーラム ☎011-231-4157

